

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2019-1615 (P2019-1615A)
 【公開日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-001
 【出願番号】特願 2017-118091 (P2017-118091)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 5/02 (2006.01)

B 6 6 B 3/02 (2006.01)

B 6 6 B 1/40 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/02 S

B 6 6 B 3/02 S

B 6 6 B 1/40 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 30 日 (2019.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乗りかごと連結されたガバナロープが巻きかけられたガバナに設置されたパルス発生器の出力に基づいて、前記乗りかごの位置を演算するかご位置演算部と、

前記かご位置演算部が演算した乗りかご位置に基づいて、前記乗りかごの着床を制御する着床制御部と、

前記乗りかごが着床動作を行う前の前記パルス発生器の出力の判定結果に基づいて、前記ガバナが設置されたガバナシステムの異常を判定するガバナ異常判定部と、

前記ガバナ異常判定部が異常を判定した場合に、前記着床制御部での着床制御の方法を、通常時とは別の制御方法に変更する着床制御方法判定部と、を備える

エレベーター制御装置。

【請求項 2】

前記別の制御方法は、前記乗りかごに設置された位置検出器と、前記乗りかごの昇降路の停止階に設置された被検出体が対向した位置から、電動機に設置されたパルス発生器の出力に基づいて着床制御を行う方法である

請求項 1 に記載のエレベーター制御装置。

【請求項 3】

前記別の制御方法は、前記乗りかごの走行速度指令パターンを自動で変更し、停止間際の減速パターンを緩やかにすることを特徴とする

請求項 1 に記載のエレベーター制御装置。

【請求項 4】

前記ガバナ異常判定部が異常を判定する際には、判定閾値として複数の閾値を持ち、

前記ガバナ異常判定部は、前記複数の閾値を使った前記パルス発生器の出力の判定で、前記ガバナロープに張力を与えるガバナウェイトプーリに設置された減衰機構の劣化の程度を判断し、判断した劣化の程度によって異常を判定する

請求項 2 又は請求項 3 のいずれか 1 項に記載のエレベーター制御装置。

【請求項 5】

乗りがごと連結されたガバナロープが巻きかけられたガバナに設置されたパルス発生器の出力に基づいて、前記乗りがごの位置を演算するかご位置演算処理と、

前記かご位置演算処理により演算した乗りがご位置に基づいて、前記乗りがごの着床を制御す

る着床制御処理と、

前記乗りがごが停止動作を行う際の前記パルス発生器の出力の判定結果に基づいて、前記ガバナが設置されたガバナシステムの異常を判定するガバナ異常判定処理と、

前記ガバナ異常判定処理で異常を判定した場合に、前記着床制御処理での着床制御の方法を、通常時とは別の制御方法に変更する着床制御方法処理と、を含む

エレベーター制御方法。